

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場会社名 横浜ゴム株式会社

上場取引所 東 大名

 コード番号 5101 URL <http://www.yrc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南雲 忠信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 森田 史夫

TEL 03-5400-4520

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	344,020	△16.2	17,311	0.1	14,441	64.5	9,044	—
21年3月期第3四半期	410,622	—	17,297	—	8,781	—	222	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	26.98	—
21年3月期第3四半期	0.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	475,599	156,819	32.2	456.50
21年3月期	473,376	144,159	29.6	417.45

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 152,987百万円 21年3月期 139,923百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	4.00	10.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	465,000	△10.1	17,000	32.7	12,000	—	7,000	—	20.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	342,598,162株	21年3月期	342,598,162株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	7,468,137株	21年3月期	7,408,825株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	335,178,570株	21年3月期第3四半期	335,228,393株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）における世界経済は、昨年からの危機的状況に加え、中近東での信用不安が世界同時株安の引き金となる等、いまだに先が見えない状況が継続しました。わが国においても、一部製造業の生産が回復の兆しを見せつつあるものの、依然として厳しい状況が継続しました。

こうした状況のもと、当社グループは、経費削減等の内部改善努力を進めるとともに、需要減少の中でも販売量を確保すべく、営業体制の強化と効率化を進めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は3,440億20百万円（前年同期比16.2%減）、連結営業利益は173億11百万円（前年同期比0.1%増）、連結経常利益は144億41百万円（前年同期比64.5%増）、連結四半期純利益は90億44百万円（前年は連結四半期純利益2億22百万円）となりました。

タイヤ部門の売上高は、2,728億32百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益は167億59百万円（前年同期比18.0%増）となりました。長期化した世界経済の不振により自動車生産台数が減少したまま推移していること等が影響し、売上高は前年同期を下回りましたが、原材料価格の低下や内部改善努力の効果により、営業利益は前年同期を上回りました。

MB部門の売上高は711億87百万円（前年同期比22.0%減）、営業利益は4億95百万円（前年同期比86.3%減）となりました。世界同時不況による需要低迷で各事業の販売は低調に推移し、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は4,755億99百万円となり、前期末に比べ22億22百万円増加しました。これは、棚卸資産の減少があったものの、投資有価証券が時価評価により増加したことや、売上債権が増加したことによるものです。

負債は3,187億80百万円となり、前期末に比べ104億36百万円減少しました。これは、買入債務などの支払債務が減少したことによるものです。

純資産合計は、1,568億19百万円となり、前期末に比べ126億59百万円増加しました。これは、四半期純利益を計上したことや、株価および為替相場変動の影響により評価・換算差額等が増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回予想（平成21年10月30日）から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

③ 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,312	16,274
受取手形及び売掛金	111,926	91,103
商品及び製品	49,522	61,392
仕掛品	7,858	8,588
原材料及び貯蔵品	13,076	16,995
その他	15,910	18,151
貸倒引当金	△977	△1,007
流動資産合計	209,629	211,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,055	59,692
機械装置及び運搬具(純額)	77,500	77,263
その他(純額)	49,667	57,337
有形固定資産合計	187,223	194,294
無形固定資産		
投資その他の資産	1,380	1,442
投資有価証券	55,837	43,869
その他	22,721	23,847
貸倒引当金	△1,192	△1,574
投資その他の資産合計	77,365	66,141
固定資産合計	265,970	261,878
資産合計	475,599	473,376
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,167	71,384
1年内償還予定の社債	10,000	—
コマーシャル・ペーパー	4,000	19,000
短期借入金	100,020	93,186
未払法人税等	2,098	1,608
役員賞与引当金	53	54
その他	33,197	42,101
流動負債合計	216,536	227,335
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	43,984	37,193
退職給付引当金	17,038	17,448
その他	21,220	17,239
固定負債合計	102,244	101,881
負債合計	318,780	329,217

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,952	31,952
利益剰余金	89,634	83,272
自己株式	△4,720	△4,699
株主資本合計	155,775	149,434
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,383	7,966
為替換算調整勘定	△17,171	△17,478
評価・換算差額等合計	△2,788	△9,511
少数株主持分	3,831	4,235
純資産合計	156,819	144,159
負債純資産合計	475,599	473,376

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	410,622	344,020
売上原価	289,394	237,475
売上総利益	121,227	106,544
販売費及び一般管理費	103,930	89,232
営業利益	17,297	17,311
営業外収益		
受取利息	203	92
受取配当金	1,679	783
その他	1,238	928
営業外収益合計	3,121	1,804
営業外費用		
支払利息	2,708	2,138
為替差損	7,394	1,086
その他	1,533	1,448
営業外費用合計	11,637	4,674
経常利益	8,781	14,441
特別利益		
固定資産売却益	335	—
投資有価証券売却益	302	718
貸倒引当金戻入額	—	267
特別利益合計	638	986
特別損失		
固定資産除売却損	147	201
投資有価証券評価損	474	64
たな卸資産評価損	505	—
損害賠償金	381	—
事業撤退損	—	123
特別損失合計	1,509	389
税金等調整前四半期純利益	7,910	15,037
法人税等	7,222	5,786
少数株主利益	465	207
四半期純利益	222	9,044

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	タイヤ	MB	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	319,378	91,244	410,622	—	410,622
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	15,621	15,680	(15,680)	—
計	319,436	106,865	426,302	(15,680)	410,622
営業利益	14,198	3,606	17,804	(507)	17,297

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	タイヤ	MB	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	272,832	71,187	344,020	—	344,020
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	8,932	8,968	(8,968)	—
計	272,868	80,120	352,988	(8,968)	344,020
営業利益	16,759	495	17,254	56	17,311

(注)

1. 事業区分は売上集計区分によるもので、主要事業としてのタイヤと非タイヤ事業からなるMBとしております。

2. 各事業の主要な製品

事業区分	主要製品
タイヤ	乗用車用、トラック・バス用、小型トラック用、建設車両用、産業車両用などの各種タイヤ・チューブ、アルミホイール、自動車関連用品
MB	コンベヤベルト、ゴム板、各種ホース、防舷材、オイルフェンス、マリンホース、型物、空気バネ、ハイウェイジョイント、橋梁用ゴム支承、ビル用免震積層ゴム、防水材、止水材、防音・防振商品、接着剤、シーリング材、スポーツ用品、航空機用燃料タンク、シール、音響材、プリプレグ、民間航空機用化粧室ユニット・飲料水タンク、各種ハニカム商品、金属ダクト、オイルタンク、断熱材、バルブ、継手、シーリングコンパウンド、Vバンドカップリング、フレックスカップリング、電磁波シールド材、情報処理サービス、不動産賃貸等

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	286,128	79,519	19,567	25,406	410,622	—	410,622
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	54,943	392	29,853	—	85,189	(85,189)	—
計	341,072	79,911	49,421	25,406	495,812	(85,189)	410,622
営業利益	10,377	3,817	985	1,230	16,410	886	17,297

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	240,374	65,951	16,029	21,664	344,020	—	344,020
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,894	37	22,751	—	63,683	(63,683)	—
計	281,269	65,988	38,780	21,664	407,703	(63,683)	344,020
営業利益	16,158	535	1,985	355	19,034	(1,723)	17,311

(注)

1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北米 …… 米国、カナダ
アジア …… フィリピン、タイ、中国、台湾
その他 …… 大洋州、欧州

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
I 海外売上高	83,204	97,365	180,569
II 連結売上高			410,622
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	20.3	23.7	44.0

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
I 海外売上高	69,035	78,451	147,486
II 連結売上高			344,020
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	20.1	22.8	42.9

(注)

1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
北米 …… 米国、カナダ
その他 …… 大洋州、欧州、アジア等
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。